

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37201	社会福祉論 Social Welfare	青木 葵	専門	2	選択	1・2年 前期

科目の概要

社会福祉は、社会で生み出されてくる生活問題に対応して、国民の生存権を保障するための活動として存在している。社会福祉の対象は国民である私たちである。身近な話題から講義をすすめていく。社会福祉と生活問題を兼ね合わせて考えたり、福祉現場で働いたり、福祉の対象者と接する時に、役立つようにしていく。社会福祉の立場からみた人間観、対象の理解の仕方を学習し、社会福祉の制度・政策・実践方法について学習する。

学修内容	到達目標
① 介護保険制度	① 介護の社会化の中で介護保険制度の必要性を知る。
② 医療との連携とリハビリテーション	② 医行為の範囲やチーム連携の大切さを理解する。
③ 社会保障制度・年金・生活保護	③ 子どもや高齢者を取り巻く環境について理解する。
④ 障害者総合支援制度	④ 障害者を取り巻く環境について理解する。
⑤ 個人の権利を守る制度	⑤ 個人情報保護の危険性について理解する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自分の強み・弱みを把握し、困難なことでも自信を持って取り組むことができた。
	働きかけ力	相手を納得させるために、協力することの必然性(意義、理由、内容など)を伝えることができた。
	実行力	強い意志を持ち、困難な状況から逃げずに取り組み続けることができた。
考え抜く力	課題発見力	現状を正しく認識するための情報収集や分析を積極的に行った。
	計画力	常に計画と進捗状況の違いに留意することができた。
	創造力	従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出すことができるようになった。
チームで働く力	発信力	聞き手がどのような情報を求めているかを理解して伝えることができるようになった。
	傾聴力	内容の認識や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解することに心がけた。
	柔軟性	自分の意見を持ちながら、他人の良い意見も共感を持って受け入れることができた。
	状況把握力	自分にできること・他人ができることを的確に判断して行動することができた。
	規律性	相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解した。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除くことができた。

テキスト及び参考文献

テキスト:「介護職員初任者研修テキスト」(長寿社会開発センター)

参考文献:「介護保険と社会福祉の制度」(日本医療企画)、 補足資料は別途に配布します。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:「生活援助技術Ⅰ」、「生活援助技術Ⅱ」、「老化、認知症、障害の理解」、「福祉レクリエーション」

資格との関連:介護職員初任者

学修上の助言	受講生とのルール
超高齢社会の中で、社会福祉の考え方や仕組みが大きく転換します。社会情勢を知るため、インターネットやメディア情報など、積極的に情報収集する意欲を持って下さい。小テストを実施しますので予習・復習をして下さい。	私語は慎み、積極的に取り組み協調性を持って授業に臨んで下さい。授業を欠席した場合は、欠席回数分の課題をレポートにまとめて提出すること(必須)。体調管理には気を付けて欠席はしないようにして下さい。携帯電話は鞆の中にして下さい。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	70	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 基本内容を理解し、自身の見解を理論的な文章で論じているかを評価する。 ポイント:①問題を適切に捉えて、それに対し自らの意見を主張できているか。②重要なポイントを押さえているか。・授業で学習した内容の理解度を確認する。 ○次の到達レベルを持って合格の基準とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度や障害者総合支援制度等について説明できる。・・・K ・介護保険制度、障害者総合支援制度、社会保障制度がわかる。・・・B ・介護保険制度に関する基本的な知識を得ることができる。・・・C ・Cのレベルに達していない。・・・F
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
小テスト	5	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の小テストの点数を平均して判定する。 ①授業内容を理解できているか確認する。 ②穴埋め問題と簡単な分析を中心に出題する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
レポート	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 課題①「介護保険制度の創設の背景と現在の状況について述べよ。」5点 課題②「4つの社会保障制度について述べよ。」5点 ・情報を収集して自分なりの言葉でまとめる能力を評価します。 ・レポートは、手書き不可。必ず、パソコンでプリントアウトしたものを提出。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・1週～12週の内容について、理解度を確認するために成果発表を行う。 グループ討議のメモ用紙(3点)、プレゼンテーションの成果(7点) ・1分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 ・注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	5	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) ・自分がやることは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。 (実行力) ・強い意志を持ち、困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる。 (課題発見力) ・課題を明らかにするために、他者の意見を積極的に求めている。 (創造力) ・従来常識や発想を転換し、新しいものを生み出すことができる。 (発信力) ・話そうとすることを自分なりに十分に理解して伝えている。 (傾聴力) ・相手の話を素直に聞くことができる。 (規律性) ・相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>S(秀)は、筆記試験が 80%以上であること。介護保険制度や障害者総合支援制度、社会保障制度、各専門職の役割・責務について、そのポイントを分かりやすく発表できること。発表についても創意工夫がある。</p> <p>A(優)は、筆記試験が 80%以上であること。介護保険制度や障害者総合支援制度、サービス利用の流れの概要のポイントを分かりやすく発表できること。発表についても創意工夫があること。</p>	<p>B(良)は、筆記試験が 70%以上であること。課題について、補足資料や学生が自ら情報収集し、内容の正確さに加え聞き手に分かりやすくまとめ発表できる。発表についても創意工夫がある。</p> <p>C(可)は、筆記試験が 60%以上であること。補足資料や学生が自ら情報収集し、内容の正確さに加え聞き手に分かりやすくまとめ発表できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	高齢化の現状と将来像について学修。「介護保険制度 背景と目的」介護保険制度の創設の背景、経緯、施行後の状況、介護保険制度の目的等を学修。	配布資料を使用し、講義。	高齢化の現状と介護の社会化の必要性や介護保険制度創設の理由を分かりやすく発表できる。	(予習)「高齢者の現状」について調べる (復習)「介護保険制度の背景と目的」についてまとめる。	180	傾聴力
2週 /	「介護保険制度 仕組みと理解」介護保険制度の基本的な仕組み、保険給付とその種類について学ぶ。	講義と質疑応答。復習のまとめ発表。	前週で学んだ内容を理解し重要なポイントが整理され、わかりやすくまとめ発表できる。	レポート課題①「介護保険制度の創設の背景と現在の状況について」4回目の授業日に提出。(手書き不可)	180	発信力
3週 /	「介護保険制度 仕組みと理解」要介護・要支援の認定、利用者負担、地域支援事業等について学ぶ。	講義と演習問題出題。1週～2週までの学修内容の小テスト①	認定の申請から認定結果の通知にいたる手続きを理解し、利用者負担、地域支援事業等についてまとめ発表できる。	(復習)介護保険制度の仕組み等についてまとめる。 (予習)次回授業の「サービス利用」について調べる。	180	実行力
4週 /	「介護保険制度 サービス利用」制度を支える組織・団体の機能と役割、財源について学ぶ。	講義と質疑応答。復習のまとめ発表。レポート課題①提出	制度を支える組織・団体の全体像、サービス提供事業者、介護の県財政等についてまとめ発表できる。	(復習)制度を支える組織・団体の全体像についてまとめる。 (予習)介護と医療連携について調べる。	180	実行力
5週 /	「介護と医療の連携について 介護と看護」医療行為と非医療行為と医療・看護職とのチームケアについて学ぶ。	講義と質疑応答。復習のまとめ発表。講義	医療・看護の役割、チームケアの必要性、看護との連携の必要性、チームにおける役割分担についてまとめ発表できる。	(復習)介護・看護の役割についてまとめる。 (予習)リハビリテーションについて調べる。	180	創造力
6週 /	「介護と医療の連携について リハビリテーション」リハビリテーションの理念と目的、医療の過程等について学ぶ。	講義と質疑応答。復習のまとめ発表。	リハビリテーションの理念、目的や事例を通して、わかりやすくまとめ発表できる。	(復習) 次週、振り返り小テスト②あり。 (予習)児童の福祉制度について調べる。	180	主体性
7週 /	「児童と福祉」子どもをとりまく環境、現代の家庭についての統計を考察し、子どもと福祉制度を説明していきます。虐待問題についてもとりあげる。	講義と演習問題出題。3週～6週までの学修内容の小テスト②	子どもをとりまく環境を理解し、児童福祉法についてわかりやすくまとめ発表できる。	(復習)児童福祉法についてまとめる。 (予習)社会保障制度について調べる。	180	実行力
8週 /	「社会保障制度、生活保護、年金」高齢者の身体・精神・社会面を理解し、高齢者をとりまく諸問題について解説します。孤独死についても考えていく。	講義と質疑応答。復習のまとめ発表。	高齢者の身体・精神・社会面を理解する。高齢者をとりまく諸問題についてわかりやすくまとめ発表できる。	レポート課題②「4つの社会保障制度について」10回目の授業日に提出。 (予習)生活保護制度について調べる。	180	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「生活保護」国民の最低限の生活を守るセイフイネットである生活保護法について説明をする。	講義と質疑応答。復習のまとめ発表。	生活保護法制度の概要についてわかりやすくまとめ発表できる。	(復習)生活保護法についてまとめる。次週、小テスト③あり。(予習)ノーマライゼーションについて調べる。	180	創造力
10週 /	「障害者の自立と社会参加」	講義。問題出題。レポート課題②提出。7週～9週までの学修内容の小テスト③	障害者の自立と社会参加の意義と役割を理解し、ノーマライゼーション思想についてわかりやすくまとめ発表できる。	(復習)ノーマライゼーション思想の概要についてまとめる。(予習)「ICF」について調べる。	180	発信力
11週 /	「ICF、障害の理解」国際生活機能分類(ICF)の生活機能構造モデルを学習する。	講義と質疑応答。復習のまとめ発表。	国際生活機能分類に書かれている「生活機能」、「心身機能・身体構造」「活動」「参加」等についてわかりやすくまとめ発表できる。	(復習)「ICF」についてまとめる。(予習)障害者施策について調べる。	180	課題発見力
12週 /	「障害者施策の概観」法制度の理念と障害の概念を学ぶ。	グループ討議 グループ発表 分かりやすく相手に理解してもらうことを意識した発表。	障害者福祉関連法制度と法的根拠についてわかりやすくまとめ発表できる。	(復習)障害者施策の概観をまとめる。(予習)障害者総合支援法について調べる。	180	発信力
13週 /	「障害者総合支援法」法理念の概要や仕組みを学ぶ。	講義。問題出題。10週～12週までの学修内容の小テスト④	障害者総合支援法の目的および概要についてわかりやすくまとめ発表できる。	(復習)障害者総合支援法についてまとめる。(予習)個人情報保護法について調べる。	180	実行力
14週 /	「個人の権利を守る制度」個人情報保護法、成年後見制度について学ぶ。	講義と質疑応答。疑問点を質問し相手の話を整理しながら復習のまとめと発表。	個人情報保護法、成年後見制度、個人情報の保護と活用のルールや法廷後見制度、任意後見制度についてわかりやすくまとめ発表できる。	(復習)個人情報保護法、成年後見制度についてまとめる。(予習)日常生活自立支援事業について調べる。	180	傾聴力
15週 /	「個人の権利を守る制度」日常生活自立支援事業について学ぶ。	講義と質疑応答。疑問点を質問し相手の話を整理しながら、まとめを発表。	判断能力が不自由な人の日常生活を支援する日常生活自立支援事業についてわかりやすくまとめ発表できる。	(復習)授業の振り返りとしてまとめを行う。(予習)介護職員の他の資格について調べる。	180	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

